

総合プロデューサー 吉成 信夫

MEDICOS
BUNKA
MICH

メディコスこれから

#03



「シビックプライドプレイス」
開設に向けて

2022年3月、ぎふメディア
アコスモスの1階にシビック
プライドプレイスを開設しま
す。昨年秋頃から構想を練り
始めたものが、ようやくか
ちになるうとしていて、私
身とてもわくわくしています。
これまでメディアコスが培った
岐阜のまちや人とのつなが
りを集約し、岐阜の魅力を詰
め込んだ情報拠点にしてい
たいと考えています。
さまざまな機能を設ける中
で、特に過去と今、そして未
来をつなぐコンテンツに力を入
れています。私は新しいもの
を次々と取り入れる岐阜市の
人々の気性をとても気に入っ
ています。

【特集】
O1 みんなでつくる市民ラジオ「てにておラジオ」
O2 過去と現在、時代を超えて、まちの魅力を集めよう！
O3 ディープな岐阜の魅力に迫る、大人のための学びの場。

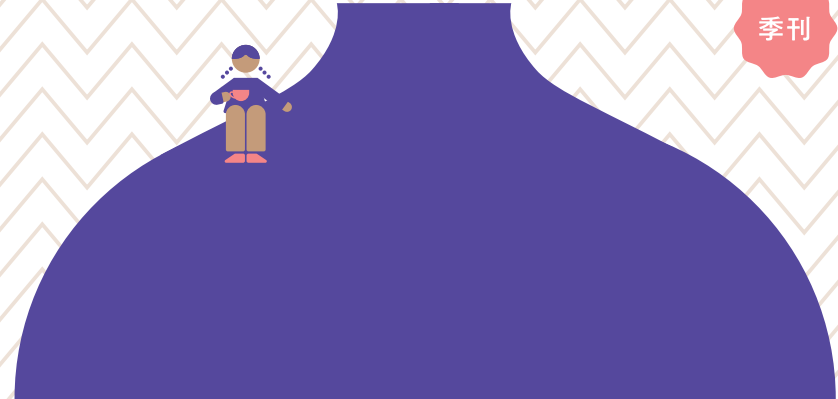
【岐阜の文化地図】
コーヒー

MEDICOS
BUNKA
MICH

VOL.
03

文化道
メディコス

季刊



【みんなの森 ぎふメディアアコスモス】
〒500-8076 岐阜市司町40-5
TEL.058-265-4101 <https://g-medicosmos.jp/>
季刊 メディコス文化道 VOL.03 (2021年12月発行)
発行 / みんなの森 ぎふメディアアコスモス
編集・デザイン / さかだちブックス (株式会社リトルクリエイティブセンター)



CIVIC PRIDE NEWS

VOL.03

2022年3月の「シビックプライドプレイス」開設に先駆けて、シビックプライドプレイスのHPでは、岐阜市のさまざまな情報を発信しています。今回は、その中の「珍ちんな人」のコーナーをご紹介します。

「珍ちんな人」とは？
岐阜市の魅力は、文化や歴史や自然だけではなく。とてもホット(ちんちん)でユニーク(珍)な人がたくさんいるのです。シビックプライドプレイスHPでは、そんな「珍ちんな人」たちを紹介しています。今後たくさんの珍ちんな人を掘り起こしていきますので楽しみに！



「山川醸造 若き4代目の思い。〜3代目の取り組みとともに〜」
山川 華奈子さん 晃生さん (山川醸造)



連綿と息づく岐阜を包む力
川に宿る“結”の心
平工 顕太郎さん (川漁師)

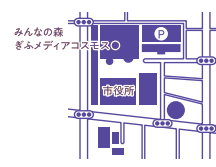


「柳ヶ瀬に舞う大衆演劇の花」
葵 好太郎さん (ぎふ葵劇場オーナー)

シビックプライドプレイス
HPはこちら▶

「珍ちんな人」は
こちら▶

【みんなの森 ぎふメディアアコスモス】
〒500-8076 岐阜市司町40-5
TEL.058-265-4101 <https://g-medicosmos.jp/>
季刊 メディコス文化道 VOL.03 (2021年12月発行)
発行 / みんなの森 ぎふメディアアコスモス
編集・デザイン / さかだちブックス (株式会社リトルクリエイティブセンター)



シビック
プライド
プレイス

2022年
3月開設！

過去から未来へ、
岐阜の魅力の情報を
集めたシンボルエリア

岐阜の歴史・ひと・文化の
魅力を伝える新名所です！

コンセプト

岐阜市の新しい魅力を、
市民とともに編集し、
発信していく拠点の創出

1 小さな観光・地域文化の可視化
2 ひと・情報の集積拠点
3 まち散歩の拠点

ぎふ歴史ギャラリー

複数の古地図と現在の地図を切り替えて表示できるほか、古地図上にプロットされた古写真や歴史的資料などから、過去の記憶をたどることができます。



まち歩きステーション

店舗や史跡、観光地など、知る人ぞ知る岐阜の魅力スポットを紹介。タッチパネルの直感的な操作で親しみやすいデザインのオリジナルさんぽ地図を作成できます。



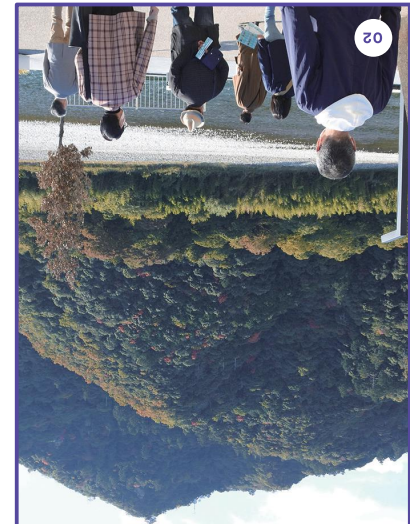
ひと・暮らし情報

市内でユニークな活動が続ける人物や、過去の偉人・文化人などを紹介。

セレクトブックシェルフ

2階のシビックプライドライブラリーと連携し、入門書やガイド本などによって旬の情報を紹介。

20



21



22



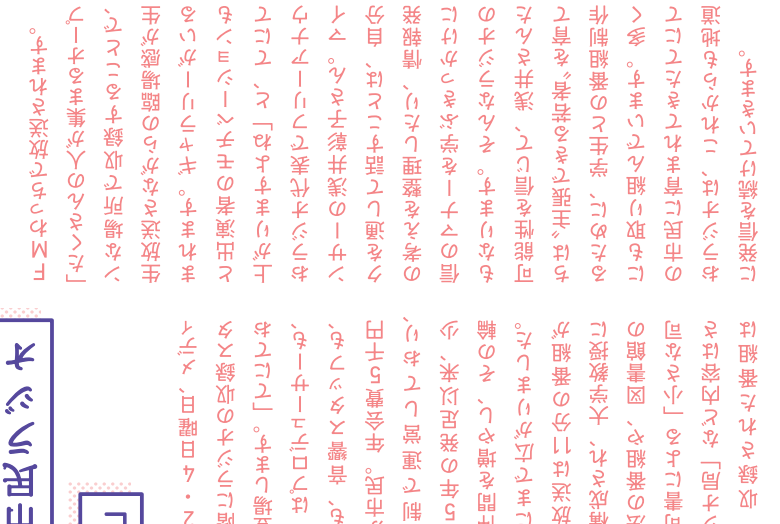
23



24



03



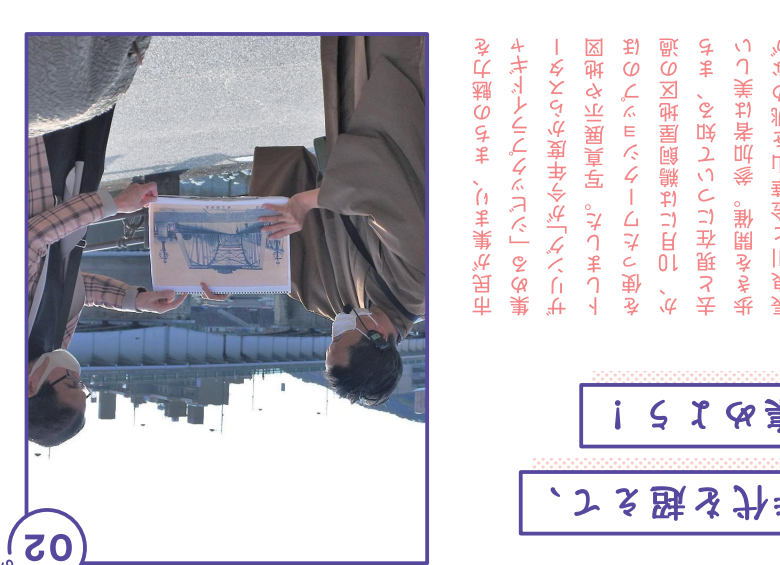
04



05



06



07



08



「まちの人」

取材で出会った / 「てにておラジオ」おとなの夜学」で出会った人の声をお届けします！

岐阜の 文化地図 CULTURAL MAP

03

THEME
コーヒー
cosmos of flavor

岐阜のまちには幾つもの文化が、地層のように積み重なり、
混じり合い、深みと広がりをもって蓄積されている。
文化とは歴史であり、発見や出逢いであり、
忘れられない記憶や記録であり、人々の暮らしの中から生まれて、
ゆるやかに繋がっていくものだ。
地図を片手にこのまちの文化を辿っていけば、
そこに“文化道”があらわれる。
今回は“嗜好の宇宙”を抱く「コーヒー」から、
文化の道を繋いでみよう。

01 ル・モンド

古き良き昭和の面影を色濃く残す喫茶店
『ル・モンド』。カランと鈴の音を鳴らして扉を
くぐると、カウンターでにこやかに迎えてくれる
のはマスターの長谷川増雄さんだ。東京で
アパレル業界に身を置いた後、帰郷。1975
年に岐阜では草分けであったコーヒー専門
店を開いた。ここにはマスターの美学が貫か
れている。メニューに並ぶのは、サイフォンで
淹れるブレンドやストレートのほか、世界各
国の20種類以上もの珍しいバリエーション
コーヒー。テーブルもソファも格子の窓も照明
も、洒落たインテリアは半世紀近くの歳月を
経てなお、色褪せない。まるで映画の世界
にトリップしたような空間でコーヒーを嗜むの
は、実にささやかで贅沢な喜びである。

[DATA]
岐阜市殿町1-4
10:00～18:00 無休
TEL.058-263-6036



モカリエンテジャパネーザ 580円、ミックスサンド 580円



「時代を経て“レトロな喫茶店”が若い人にも人気に」
マスター／長谷川増雄さん
喫茶店は友人と話したり、ふと立ち寄って一服したりする社会性のある
場所。特に岐阜では、喫茶店に行くことが生活のリズムの一つになっ
てるんじゃないかな。また時代がめぐったのか、最近はレトロな喫茶店とし
て注目されて、若い学生さんもよく来てくれるよ。コーヒーを飲んだこと
がないって子も、ここでコーヒーを楽しんでくれるのが嬉しいね。

03 COFFEE STAND TIROL

2020年夏に柳ヶ瀬商店街にオープンした
『COFFEE STAND TIROL』。国内ブランド
のセレクトショップ「phenom」を営む成田満
弘さんが、「柳ヶ瀬にもっといろんな人が利用
できるオープンな場所があれば」と、店の隣
で始めたコーヒースタンド。その存在は少し
ずつ、まちの景色を変えた。通りすがりの年
配客、スマホを片手にここを目指して商店街
を訪れる若い女性、子どもを連れた夫婦。さ
まざまな人がふと立ち寄り、淹れたての香ば
しいコーヒーやオリジナルレシピのカヌレでひ
ととき憩う。2021年9月には名鉄岐阜駅の
各務原線の改札口近くに『COFFEE STAND
CAROL』もオープン。どちらも行き交う人々
が一息つく止まり木のような場所だ。

[DATA]
岐阜市日の出町1-13
10:00～18:00 ※冬季は11:00～17:00
無休
Instagram: @tirol_coffee2020



オリジナルブレンド 400円、カヌレ 各150円

「誰でも入りやすいコーヒースタンドを」
店主／成田満弘さん



岐阜には昔ながらの喫茶店も多く、僕も玉宮町でセレクトショップに勤
めていた頃はよくコーヒーを飲みに出かけていました。ただ、商店街や
駅など無作為にたくさんの人が通る場所には、誰でも気軽に入りやすい
コーヒースタンドが合うと思って始めたのがTIROLやCAROLです。幅
広い世代のいろんな人に立ち寄ってもらえたらと思っています。

HOW TO USE

CULTURAL MAP

岐阜のまちにはどんな文化が
蓄積されているんだろうか。
地図を片手にまちを歩きながら
新しい発見を書き込んで
自分だけの文化地図をつくろう。

COLUMN ー岐阜のコーヒー文化ー

柳ヶ瀬では大正時代は女給が接待を行う「カ
フェー」で料理や洋酒とともにコーヒーが飲まれ
ていました。昭和初期には、女給を置かず酒
類を提供しない「純喫茶」が少しずつ現れます
が、当時まだコーヒーは高価な贅沢品でした。
戦後になると、喫茶店が次々とオープンし、音
楽喫茶やコーヒー専門店なども登場。柳ヶ瀬
は“喫茶の街”として賑わい、コーヒーも大衆化
します。さらに、繊維業関連の商談の場として
喫茶店が利用されたことで、モーニングの文化
も根付いたといわれています。



【さかだちブックス編集部のコピー地図】

04 いしぐれ珈琲
柳ヶ瀬散策で訪れたい自家焙煎コーヒー専門店。「柳ヶ瀬ブレンド」
は1杯300円。マスターの石博さんとの会話も楽しみの一つ。

05 oasis Denen デンエン
1956年に「田園」として創業した喫茶店。1995年に改装オープン
した店内は吹き抜けで天井が高く、優雅にゆったりくつろげる。

06 BLITZ Coffee ブリッツコーヒー
テイクアウト専門のコーヒースタンド。オリジナルブレンドをはじめ約
30種類のドリンクや焼き菓子もあり、まち歩きのおともにもぴったり。

07 TAKURO COFFEE
メルボルン仕込みのバリスタTAKUROさんが淹れるコーヒーをはじめ、
ランチやクラフトビール、音楽やアートも楽しめる注目スポット。

08 HONKY TONK ホンキートンク
まちなかの喧騒からふと逃れ、非日常の時間が過ごせる隠れ家のよう
なカフェ。その扉はコーヒーと音楽を愛する人に広く開かれている。

09 珈琲屋さむ
コーヒー豆の形をした窓からまちを眺めながら、こだわりの詰まった
自家焙煎コーヒーを。コーヒーの風味が広がるモカソフトも必食。

10 cafe 旅人の木
金神社の境内にある穏やかな時間が流れるカフェ。自家焙煎した
豆で丁寧に抽出するコーヒーと手作りのデザートで、ほっと一息を。

●01 [カレー]で紹介したお店 ●02 [本と映画]で紹介したお店

02 YAJIMA COFFEE

岐阜公園の西に建つ倉庫の一角で、2014
年にオープンした『YAJIMA COFFEE』。洗
練されたスタイリッシュな店内。大きな窓から
は金華山と岐阜城が望める。存在感のある
ブニングの一枚板のカウンターの向こうで、
自家焙煎した豆を挽き、真剣な表情で丁寧
にコーヒーを淹れる店主の矢島明さん。「お
客様それぞれの日常の中であって、わざわざ
訪れるのではなく自然に立ち寄れるようなお
店であることが理想ですね」。ブレンドは3種
類、ストレートは約13種類。迷ったときは「本
日のコーヒー」を。妻の奈津美さんが手作り
するはっとするほど美味しいケーキとともに味
わう澄んだまろやかなコーヒーが、いつもの
日常にそっと元気を与えてくれる。



本日のコーヒー 490円、カーディナル 500円

[DATA]
岐阜市大宮町1-8 金星倉庫
12:00～18:00 火曜・水曜定休、不定休あり
TEL.058-215-6890
<http://yajimacoffee.jp/>



「生まれ育った金華山の麓でコーヒー店を営む」
店主／矢島明さん
この辺りで生まれ育ったので、金華山が見えるこの場所にお店をオー
プンしました。お客様が一人でじっくりコーヒーを味わっていただくのも、
誰かとの会話の隣に何気なくコーヒーがあるというのも、どちらもいいな
と思います。ぎふメディアコスモスは僕自身もよく利用していますし、遠
方から知り合いが岐阜に来たときは、必ず紹介する場所です。